

P311-E972-01

取扱説明書

PRIMERGY 6570

追補分冊：ラックマウントモデル編

PRIMERGY 6770

FUJITSU



はじめに

このたびは、PRIMERGY 6000 をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本取扱説明書は、PRIMERGY 6570/6770 ラックマウントモデルのハードウェアの基本的な操作方法、取扱上の注意事項およびその他本装置をお使いになる上でご参考になる事柄について、ラックマウントタイプに固有の事柄を中心に記載しています。

PRIMERGY 6570/6770 に共通の事柄につきましては、添付の「PRIMERGY 6570/6770 取扱説明書」に記載しています。本説明書と合わせてよくお読みいただき、本装置を正しく末永くご使用いただきますようお願い申し上げます。

安全な使用のために

この説明書の取扱いについて

この説明書には、当製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用する前に、この説明書を熟読してください。特に、この説明書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で当製品を使用してください。また、この説明書は、当製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通はお客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際には、本書の説明に従ってください。

製品の使用環境

本製品は一般のオフィス環境において、一般の使用者に安全にご使用いただけるよう設計/製造されており、本製品をご使用される場合には本取扱説明書に記載されている設置や取扱上の注意事項を守ってください。上記の記述の範囲外で使用した場合、使用者および周囲の方の身体や財産に予期しない障害を生じるおそれがあります。

警告表示

この説明書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために以下の警告表示をしています。



この記号は、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



この記号は、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の障害を負うことがあり得ること、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に障害が生じる危険性があることを示しています。

2009年 8月

2009年 8月 初版

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下、「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

当社のドキュメントには「外国為替および外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2を準用しています。

- ・本書を無断で他に転載しないようお願いいたします。
- ・本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

Copyright FUJITSU LIMITED 2009

安全上の注意事項

本製品についての重要な警告事項を以下に示します。



正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

- 指定された電源電圧以外では、使用しない。
AC100V（日本国内）でお使いください。海外では使えません。感電や火災のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。
- アースは必ず接続する。
感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工しない。
感電や火災のおそれがあります。電源コードの上に物をのせたり、踏みつけたり、足を引っかけたりしないように注意してください。
- 装置が破損したり、異常が起きたらすぐにすべての電源コードを抜く。
感電や火災のおそれがあります。装置後面の電源コードおよび装置内部の UPS（無停電電源機構）に接続されている電源コードをすべて抜いた上で、保守技術員に連絡してください。
- 異物が入ったら、すぐにすべての電源コードを抜く。
感電や火災のおそれがあります。装置後面の電源コードおよび装置内部の UPS（無停電電源機構）に接続されている電源コードをすべて抜いた上で、保守技術員に連絡してください。
- 装置を分解したり、改造したりしない。
感電や火災のおそれがあります。また、内部に高電圧部分があります。
- 清掃するときに清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しない。
火災のおそれがあります。本装置を清掃する場合は、水（または水で薄めた中性洗剤）をしみこませた布を固く絞って拭き取ってください。拭き取るときに本装置のスイッチ類やすきまなどに、水が入らないように注意してください。

⚠ 注意

この記号は、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の障害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に障害が生じる危険性があることを示しています。

- 電源コードは、プラグ部分をもって抜く。
感電や火災のおそれがあります。
- すべての電源コードを接続するコンセントは、装置の近くで人が容易に抜くことが可能なように設置する。
- 直射日光のあたる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い所には置かない。
感電や火災のおそれがあります。
- 吸入口または排気口をふさがない。
装置内部が高温になり、火災のおそれがあります。
- バッテリーを廃棄するときは、保守技術員に連絡する。
火災のおそれがあります。
- 装置の上にものを置いたり、装置の上で作業したりしない。
転倒、落下のおそれがあります。
- 不安定な場所に置かない。
転倒、落下のおそれがあります。
- 20kg以上の装置は、必ず2人以上で運ぶ。
腰や手を傷めるおそれがあります。
- 装置を廃棄するときは、保守技術員に連絡する。
装置内部には火中に投じると破裂するおそれがあるものを使用されていることがあります。
- 液晶（液）に直接触らない。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出した場合は直接触らないでください。万一、皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身で行わないでください。弊社にご連絡の上、保守技術員によるメンテナンスを受けてください。

接続可能な機器など

当製品には弊社で指定した機器のみを接続してください。これら以外の機器を接続した場合、お客様の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

サプライ用品について

当製品には弊社指定のサプライ用品を使用してください。指定以外のサプライ用品を使用した場合、お客様の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

警告ラベル

本装置には、下の図のように警告ラベルが貼られています。

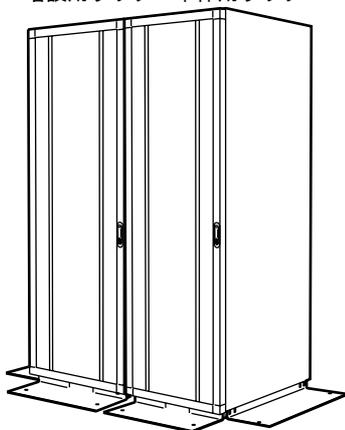
警告ラベルは、絶対にはがさないでください。また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合は、保守技術員まで連絡してください。

本体用ラック

図は 2000mm ラックの場合を示していますが、1200mm ラックの場合も同様の警告ラベルを表示しています。

前面

増設用ラック 本体用ラック



△注意

感電 感電するおそれがありますので保守技術員以外はカバーを開けないでください。また、活性保守時以外は電源コードを抜いてから作業してください。
ケガ 手指を挟むとケガをする恐れがあります。ユニットの出し入れ時には、注意してください。

本ラベルは、本体装置に貼ってあるため、ラックフロントカバーを開けないと見えません。

△注意

各ノードを引き出す前にスタビライザが付いている事を確認すること。また各ノードの格納後に情報ケーブルが正しくフォーミングされているか確認して下さい。

本ラベルは、ラックフロントカバー裏に貼ってあるため、ラックフロントカバーを開けないと見えません。

後面

本体用ラック 増設用ラック

△注意

非常時には後ろのトビラを開けて、各ユニット全ての電源コードを外した後UPSの電源コードを抜いて下さい。

△警告

漏洩電流大。
電源線接続前に必ず先に接地接続を行うこと。

△注意

UPSのコンセントに、指定外装置や電器製品を接続しないで下さい。

本ラベルは、ラック内部底面に貼ってあるため、ラックリアカバーを開けないと見えません。

△注意

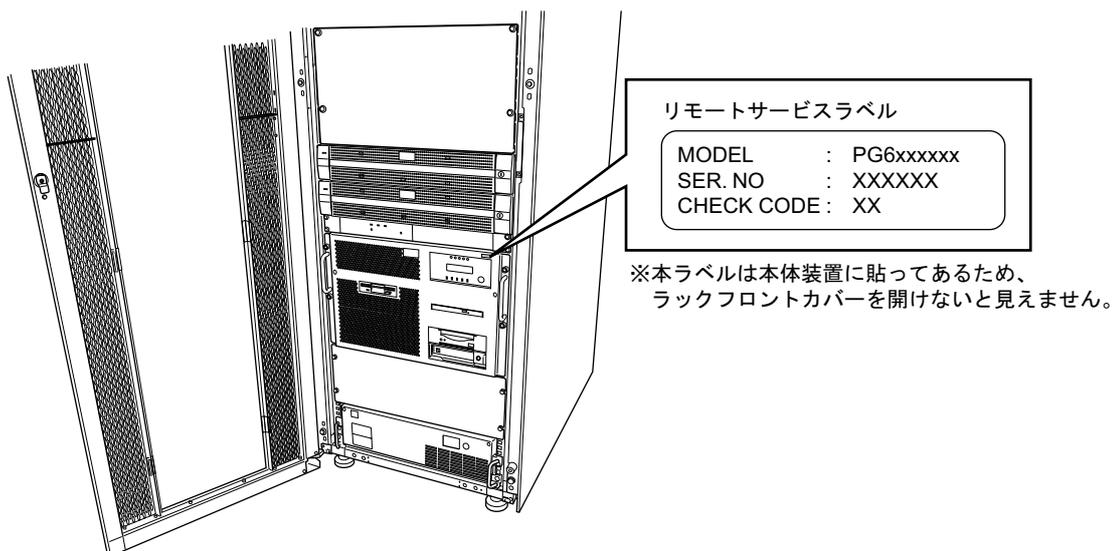
感電 保守する前に、電源コード（最大2本）を抜いてください。

本ラベルは、本体装置に貼ってあるため、ラックリアカバーを開けないと見えません。

リモートサービスラベル

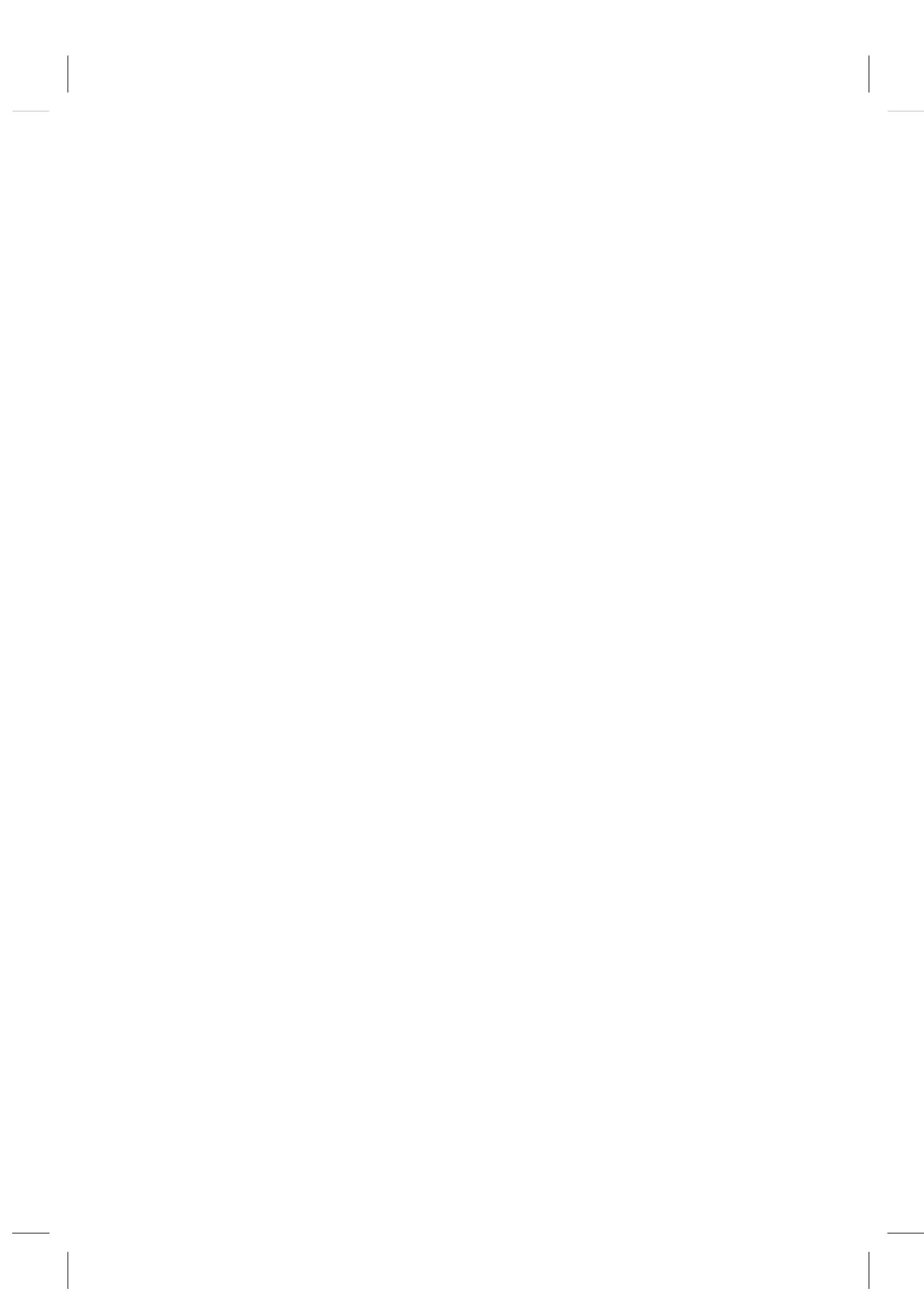
本装置には、下の図のようなリモートサービスラベルが貼られています。

リモートサービスラベルは絶対にはがさないでください。また汚れて見にくくなった場合は、保守技術員まで連絡してください。



目次

第 1 章	概要	1
1.1	各部の名称と機能	2
1.2	取扱上の注意	11
1.3	設置	12
1.4	装置の吸排気	17
第 2 章	異常時の操作	19
2.1	非常時のシステム停止方法	20



1

第 1 章 概要

CONTENTS

1.1	各部の名称と機能	2
1.2	取扱上の注意	11
1.3	設置	12
1.4	装置の吸排気	17

1.1 各部の名称と機能

PRIMERGY 6570/6770 ラックマウントモデルの各部の名称を次の図に示します。なお、ラックには 2 種類 (2000mm, 1200mm) の高さのモデルがあります。

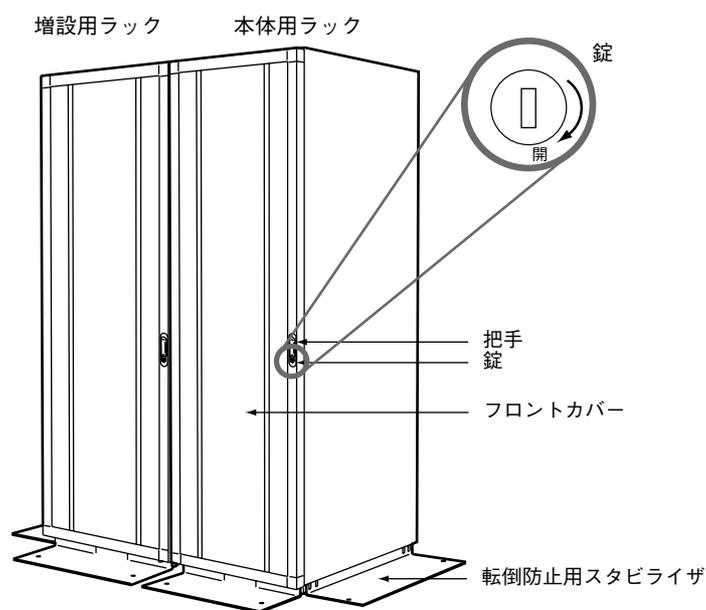


図 1.1 フロントカバーが閉じた状態 (2000mm ラック)

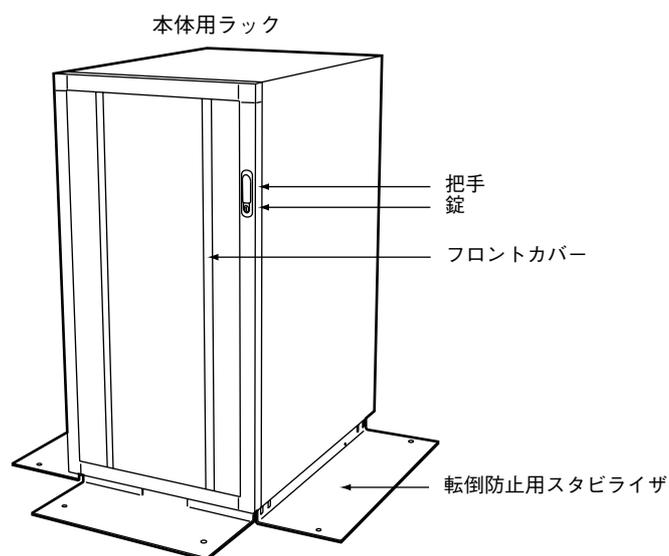


図 1.2 フロントカバーが閉じた状態 (1200mm ラック)

ここでは、2000mm ラックについて説明します。1200mm ラックについても同様の機能を持ちます。

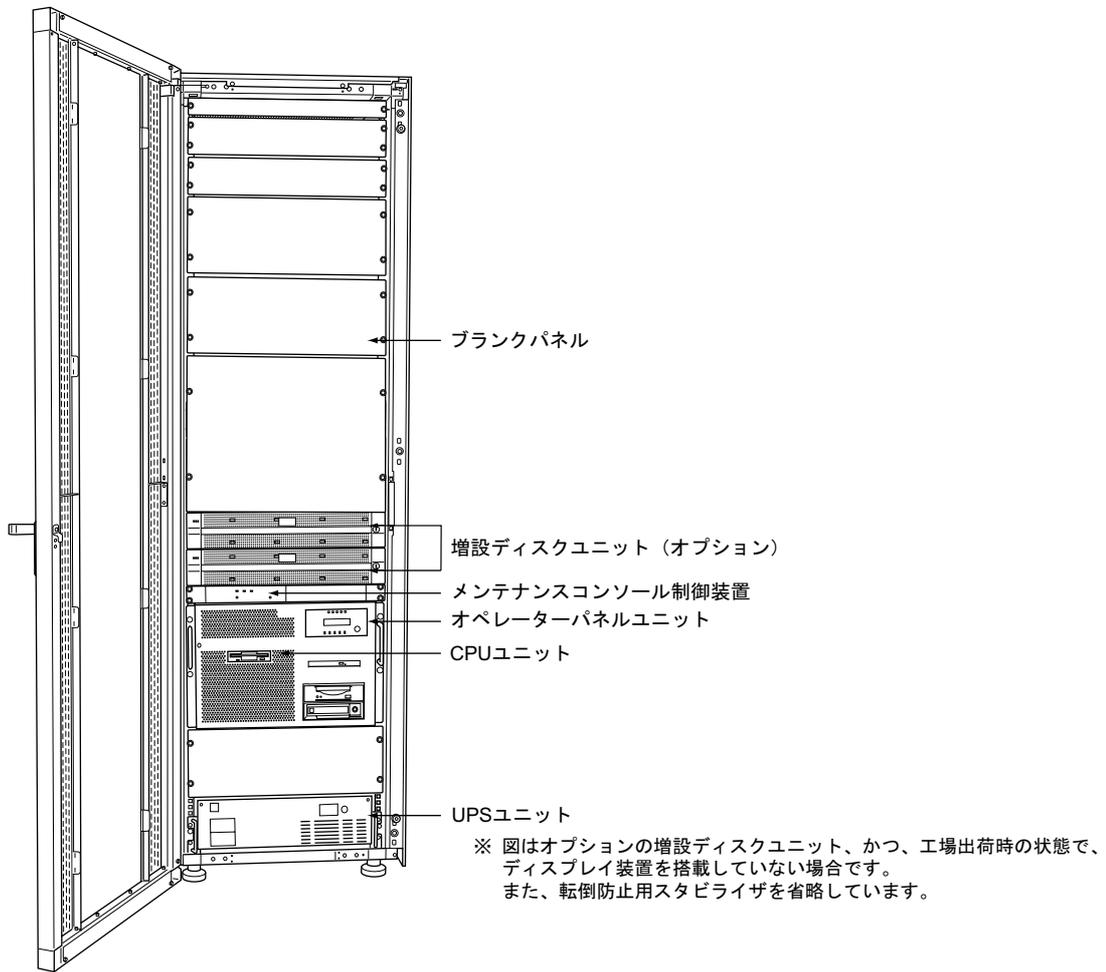


図 1.3 フロントカバーが開いた状態 - 1

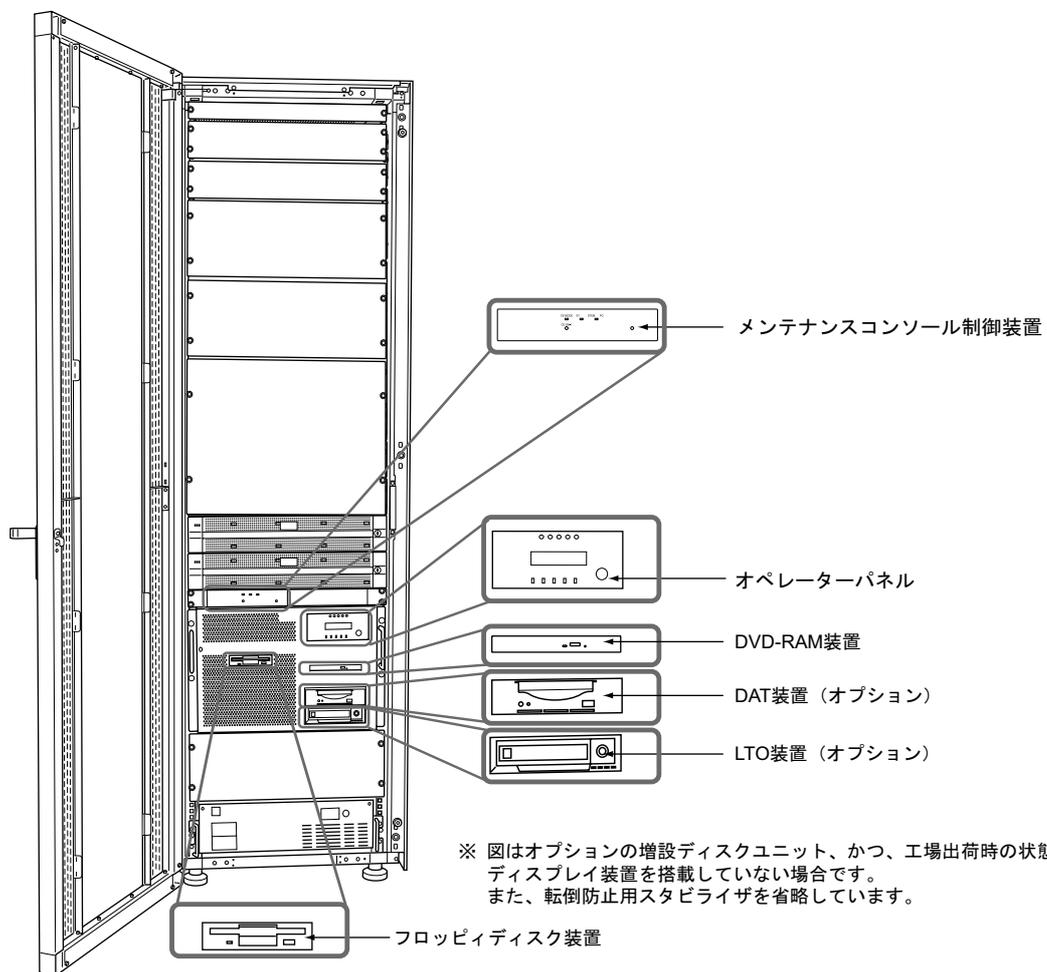


図 1.4 フロントカバーが開いた状態 - 2

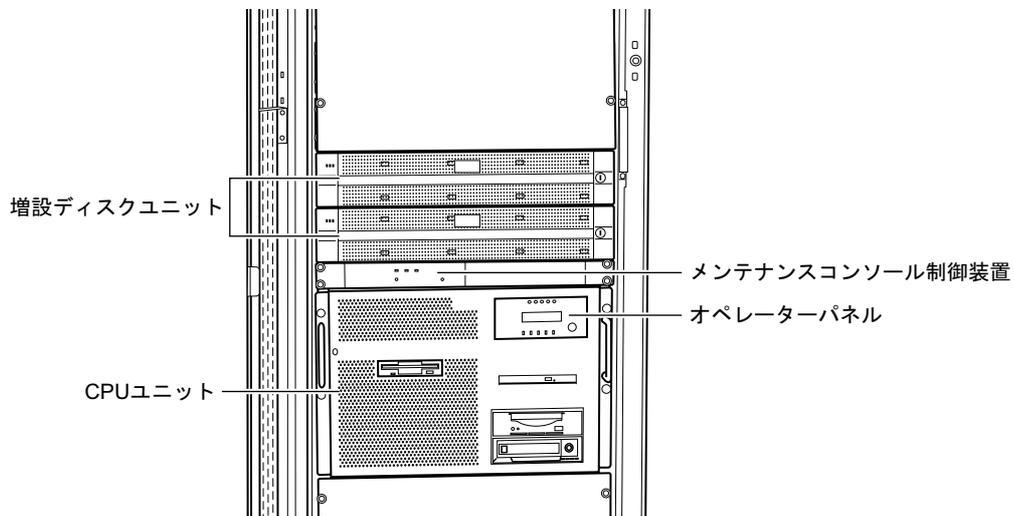


図 1.5 フロントカバーが開いた状態 - 3

PRIMERGY 6570/6770 ラックマウントモデルの各部の名称と機能を次に示します。

フロントカバー

フロントカバーは、通常は閉じた状態で使用してください。

錠

フロントカバー/リアカバーを施錠するための錠です。(矢印の方向に廻すと開錠できます。)保守する際に必要となりますので、キーは大切に保管してください。

【本体装置 (CPU ユニット / オペレーターパネルユニット) の各部の名称と機能】

オペレーターパネル

装置の動作状態を表示するパネルです。

詳細は「PRIMERGY 6570/6770 取扱説明書 付録 B オペレーターパネルの詳細」を参照してください。

エラーメッセージはオペレーターパネルに表示します。

表示内容については、「PRIMERGY 6570/6770 取扱説明書 付録 A エラーメッセージとその対処方法」を参照してください。

内蔵入出力装置 (フロッピーディスク装置、DVD-RAM 装置、DAT 装置 (オプション) および LTO 装置 (オプション)) やオペレーターパネルを使用する時は、フロントカバーを開けてください。

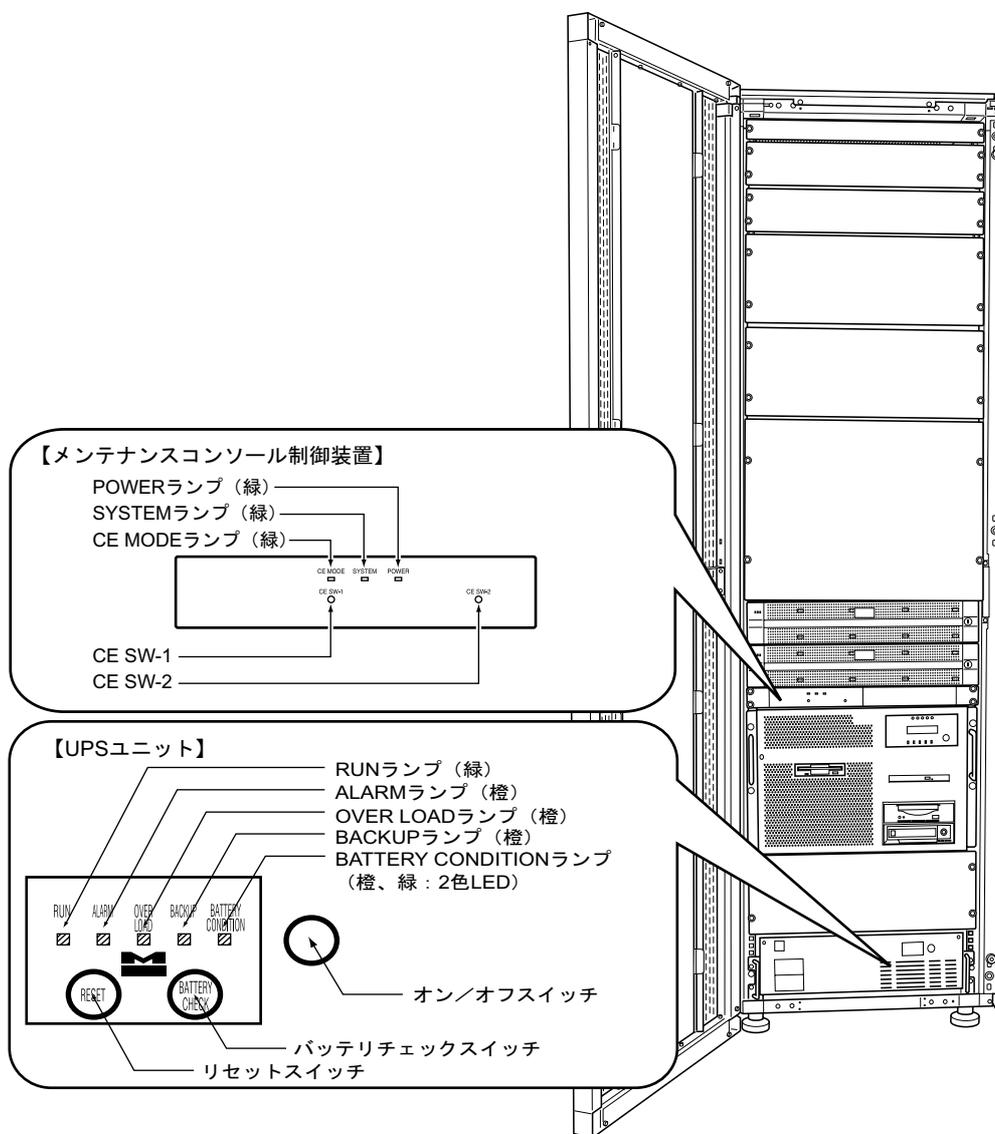


図 1.6 フロントカバーが開いた状態 - 4

【メンテナンスコンソール制御装置の各部の名称と機能】

メンテナンスコンソール制御装置は、保守技術員のみが操作します。

POWER ランプ（緑）

メンテナンスコンソール制御装置の電源が入っているときに点灯します。

SYSTEM ランプ（緑）

本体装置の電源が入っているときに点灯します。

CE MODE ランプ（緑）

メンテナンスコンソール制御装置が CE モードに切り替わったときに点灯します。

CE SW-1、CE SW-2

これらのスイッチは、保守技術員専用のスイッチです。保守技術員以外は絶対に操作しないでください。

【UPS (無停電電源装置) ユニットの各部の名称と機能】

RUN ランプ (緑)

UPS ユニットの運転時に点灯します。

ALARM ランプ (橙)

点灯時は、UPS ユニットが故障したことを示します。(注1)

点滅時は、UPS ユニットへの入力電源環境に異常があることを示します。(注1)

OVER LOAD ランプ (橙)

UPS ユニットが過負荷状態のときに点灯します。

この場合、UPS にプリンタ装置や FAX などが接続されていないかをご確認ください。もし、これらの装置が接続されている場合は、動作中でないことを確認の上、速やかに UPS からコンセントを抜いてください。それでも当ランプが消えない場合は、保守技術員に連絡してください。

BACKUP ランプ (橙)

UPS ユニットがバックアップ運転時に点灯します。

BATTERY CONDITION ランプ (緑、橙：2色 LED)

UPS ユニットのバッテリー状態を表示します。

緑色ランプは、バッテリーの充電量を示します。

- 消灯：0～50%未満
- 点滅：50%以上～80%未満
- 点灯：80%以上～満充電

橙色ランプ点灯時は、バッテリーに異常が発生したことを示します。(注1)

橙色ランプ点滅時は、バッテリーチェック動作中であることを示します。

オン/オフ スイッチ

UPS を電源に接続した状態で、本ボタンを押す(1秒以上)と、負荷装置に電源を供給します。

また、UPS がオン状態のときは、UPS の出力電源を切るボタンです。

保守技術員以外は絶対に操作しないでください。

注) UPS の AC コンセントを電源に接続すると、自動的に負荷装置へ電源を供給します。

リセットスイッチ (RESET)

押すと直ちにブザー音を停止します。3秒以上押し続けると UPS ユニットをリセットします。

保守技術員以外は絶対に操作しないでください。

バッテリーチェックスイッチ (BATTERY CHECK)

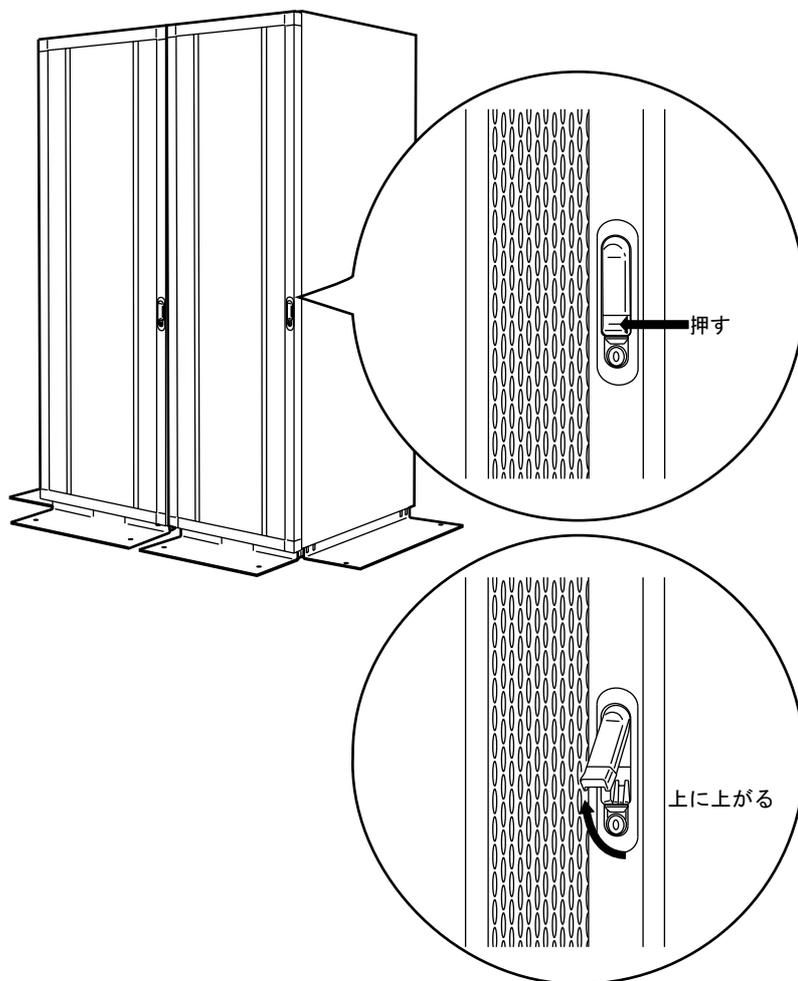
1秒以上押し続けることで、バッテリーチェック動作を実行します。

保守技術員以外は絶対に操作しないでください。

(注1) 装置に異常が発生したことを示していますので、保守技術員に連絡してください。

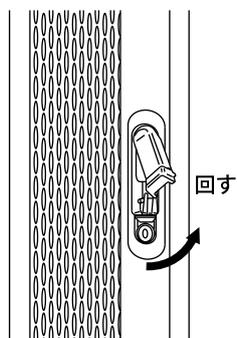
【フロントカバーの開け方】

- 1 ラックの扉キーにより解錠後、把手の下部を押します。



第 1 章 概要

- 2 把手が前方に飛び出しますので、右方向に把手を引き、扉を開けます。



- 3 閉じる時は、逆の手順で行ってください。

1.2 取扱上の注意

注意

装置損傷

この装置の性能を十分に発揮させ、また安全にご使用いただくために次に述べる注意事項を守ってください。

- 吸入口および排気口をふさがないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる器具の近くに置かないでください。
- ほこりの多い場所、腐食性ガスが発生する場所、潮風が直接当たるような場所は避けてください。
- 振動の多い場所は避けてください。装置が傾かないような平らな場所に設置してください。
- D種（旧第3種）以上の接地（アース）を使用してください。他のアース線との共用は誤動作の原因になるためしないでください。
- コード類が機器の下になったり、ひばられた状態にしないでください。電源が入った状態のまま、電源コードを抜かないでください。
- 本装置の上に物を置いたり、上で作業をしたりしないでください。
- 周囲の温度を急激に変化させないでください。特に冬季に周囲の温度を急激に上げると装置内部に結露が生じます。また、装置が十分暖まってから使用してください。
- 複写機、空調機、溶接機などノイズ発生源の近くに設置しないでください。
- 静電気が発生しないようにしてください。特にじゅうたんを敷くと静電気が発生しやすく、誤動作の原因になるので注意してください。
- テレビ、ラジオおよび無線機とは離してお使いください。テレビ、ラジオおよび無線機などに影響を与える場合があります。離してお使いになるか、室外アンテナを離れた場所に立てる、シールドを行うなどの対策をお願いします。
- 携帯電話などを本体に近づけて使用しないでください。装置が正しく動作しなくなる場合があります。

1.3 設置



注意

装置損傷

本装置を設置する場合は、必ず保守技術員にご連絡ください。お客様での設置は、故障の原因となる場合があるため行わないでください。

温湿度について

本装置は、周囲温度が 10～35 の環境を守ってご利用ください。

夜間や休日の稼働に際しても空調のスケジュール等を十分考慮し、周囲温度をはずれた温度のもとで運用されることの無いようにしてください。

温湿度条件が守られないと、電子部品の誤動作や、故障、寿命短縮の原因となります。

- 特に夏場においては、夜間・休日にも冷房を入れて、周囲温度が 35 を超えないようにしてください。
- また、冬場においては、寒い中で暖房を入れる場合、1 時間あたりの温度上昇が 15 を超えないようにして、結露を発生させないでください。

装置を正常にお使いいただくために、次の表に示す環境でご使用ください。

温度	動作時	10 ~ 35
	休止時	0 ~ 50
湿度	動作時	20 ~ 80%RH
	休止時	8 ~ 80%RH
最高湿球温度		29 (結露しないこと)

定期交換部品について

本装置は、装置の稼働時間により、交換が必要な部品が搭載されています。

本装置の定期交換部品と交換周期を以下に示します。交換周期の参考にしてください。

なお、下記の値は設置環境温度 (10～35 : 平均 25) で使用している場合です。

定期交換部品	交換周期	備考
UPS バッテリ	約 2 年	運用時間によらず約 2 年

**装置損傷**

保守サポート期間は、お客様の購入後5年間です。

注) 設置環境温度(10~35℃:平均25℃)を守ってご利用いただいた場合
お客様の使用環境や使用時間により、保守サポート期間内(耐用期間内)でも、
上記表に記載されているとおり、交換が必要な交換部品があります。これらの
部品は、別途保守契約を締結いただいた場合でも有償となる場合があります。

腐食性ガスや塵埃について

腐食性ガスや潮風は、装置を腐食させ誤動作、破損および、装置寿命を著しく短くする原因となりますので空気清浄装置を設置する等の対策が必要となります。

また、塵埃が多い場所についても、記憶媒体の破損、装置冷却の妨げ等により、誤動作や装置寿命を著しく短くする原因となります。

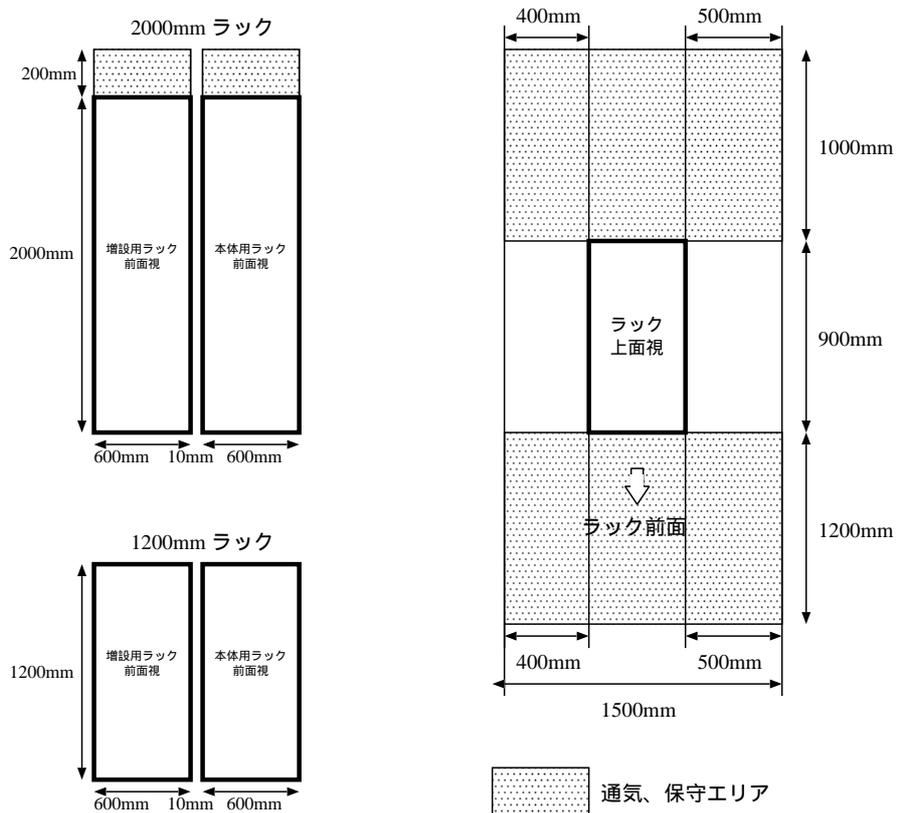
- 腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉/火山地帯などがあります。
- 塩害地区の目安としては、海岸線より500m以内となります。

なお、設置環境が守られていないと、装置が誤動作、破損した場合でも、保守等のサポートができない場合があります。

第 1 章 概要

レイアウト条件

装置の故障を防止し、日常の操作や保守作業をスムーズに行うために、次の図に示すように十分なエリアを確保してください。



地震対策について

地震対策として、転倒防止用スタビライザに設けられている穴を使用し、装置をフロア等に固定することができます。

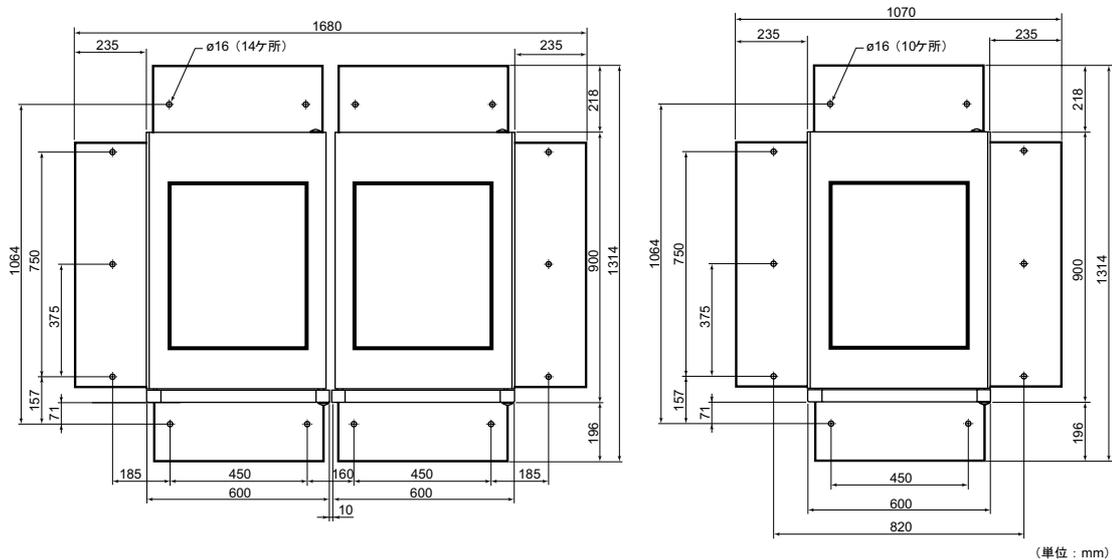


注意

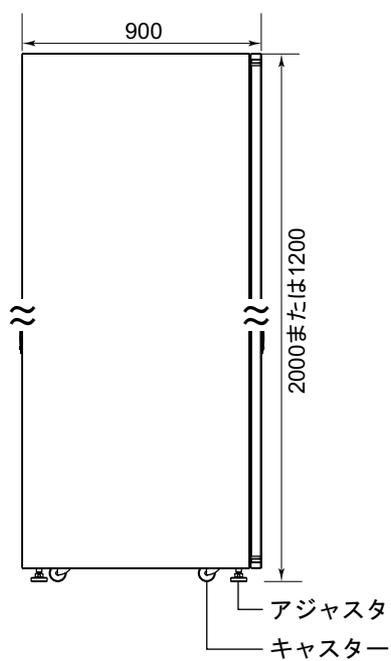
装置損傷

設置時には、キャスターが少し浮く程度までアジャスタを下げてください。(キャスターでラックの重量を支えないでください。)

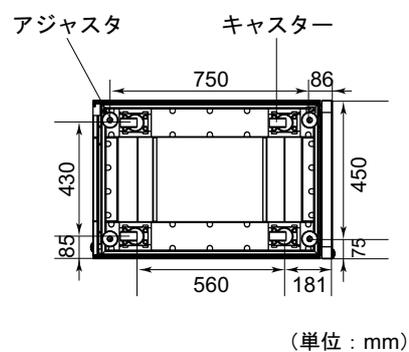
■スタビライザ固定位置



■ラック側面



■ラック底面



📖 ひとくちメモ

スタビライザ穴位置は、製造バラツキにより変わります。建屋の工事は、現品に合わせて行ってください。

その他の注意事項

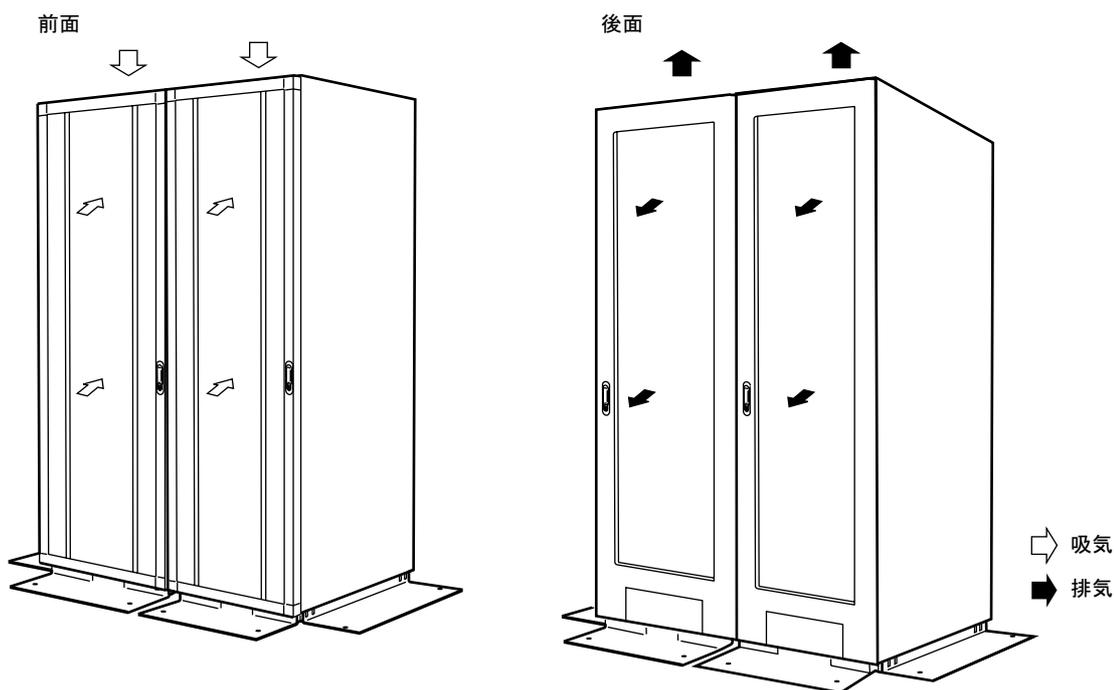


装置損傷

- 吸入口と排気口はふさがらないでください。装置内部の温度が上昇し故障の原因となります。
- 特殊な環境や、装置を覆ったりする特異な条件に設置する場合は、必ず事前に保守技術員にご相談ください。

1.4 装置の吸排気

本装置は、空冷方式で装置内部を冷却しています。したがって、本装置の空気吸入口および排気口の周辺は、十分な空間を確保する必要があります。吸排気のための十分な空間がない場合、装置内部の温度が非常に高くなり、装置故障防止のために、電源が自動的に切断されることがあるため、吸排気には十分にご注意ください。本装置の空気吸入口と排気口を次の図に示します。





2

第 2 章 異常時の操作

CONTENTS

2.1 非常時のシステム停止方法	20
------------------------	----

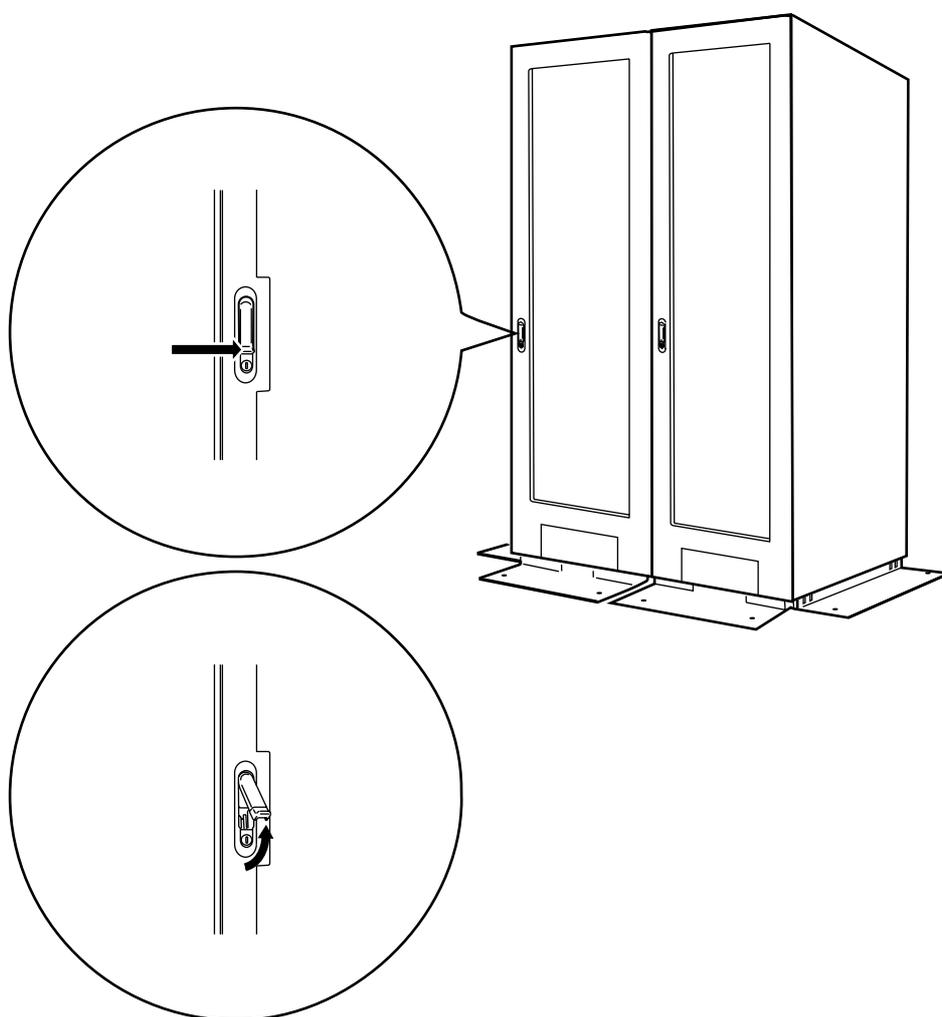
2.1 非常時のシステム停止方法

火災などの非常事態が発生した場合は、以下の要領ですべての電源コードを抜いてください。

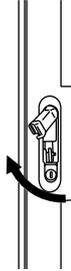
- 本装置は、UPS を内蔵しております。装置後面の扉（リアカバー）を開け（下図参照）UPS に接続されている各ユニットのすべての電源コードを抜きます。
- 装置後面のすべての電源コードを抜きます。

リアカバーの開き方

- 1 ラック扉用キーにより解錠後、把手の下部を押します。



- 2 把手が前方に飛び出しますので、左方向に把手を引き、扉を開けます。



⚠ 注意

装置損傷

非常時には、装置後面の電源コードを抜く必要があります。
このため、装置後面の電源コードを容易に抜くことが可能なスペースを空けて
装置を設置してください。

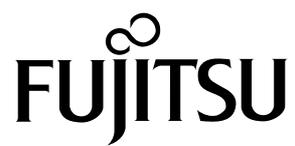
⚠ 注意

データ破壊

非常事態以外の場合には、絶対に電源コードを抜かないでください。処理中の
データが破壊されるおそれがあります。

👉 ひとくちメモ

再度電源を投入する場合には、保守技術員の操作が必要となります。



このマニュアルは再生紙を使用しています。